



馬車道通信



2011年も残すところあとわずかとなりました。

今年は未曾有の災害に見舞われ、誰もがいろいろなことを考えさせられる年でもありました。当センターもシンポジウムを通して被災地の若者の活動について意見交換が交わされました。

来年も多くの講座・研修で育成センターをご利用頂けるようよろしくお願いいたします。

皆さま、よいお年をお迎えください。



スキルアップ講座のご報告

障がいを超えた子どもとの関わり方

(11月29日実施)

発達障がいへの理解を深めるとともに、障がいのある子とそうでない子が、お互いの関わり合いの中で育つために周りの大人はどのような働きかけをしたらよいかについて、放課後キッズクラブや学童保育クラブのスタッフ等40人が学びました。

障がいのある子が経験している大変さの疑似体験を行ったり、学校現場で障がい児支援に携わった講師の、事例に基づく子どもとの関わり方についてお話をうかがいました。

個別対応がとれない環境では、「子どもたちに役割を割り振る」「子どもの中のキーパーソンに協力してもらおう」といった働きかけが有効、とのお話が特に印象に残りました。

育成センターからのお知らせ

■育成センターの年末年始の休館日は

12月29日(木)～平成24年1月3日(火)となります。



■講座『若者とインターネット』(仮)

インターネットとの関わりから、青少年が考えていること、思っていることについて理解を図ります。

日時：平成24年1月21日(土) 10:00～12:00

会場：横浜市青少年育成センター

講師：宮崎豊久氏(インターネット博物館代表)

参加費：500円

【シリーズ馬車道コラム】

馬車道は発祥の地



アイスクリームも

明治2年5月9日、「町田房蔵」が馬車道通りに開いた「氷水屋」で製造・販売したものが初とされています。「あいすくりん」という名称で、一人前の値段は2分(現在の価値で約8,000円)と高価で、当初は外国人にしか売れず庶民の手には届きにくかったようです。

これを記念して、日本アイスクリーム協会が毎年5月9日を「アイスクリームの日」とし、馬車道商店街は来訪者に「馬車道あいす」を無料配布しています。長い行列を見つけたらチャンスですよ！

利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

『横浜国立大学混声合唱団』(第1研修室利用)

主に横浜国立大学の学部生・院生で構成されている合唱団で、年2回の演奏会の他、様々なイベントで歌わせて頂いています。合唱の魅力は同世代の仲間と一つの作品を創りあげた時の達成感です。

(横浜国立大学混声合唱団代表：金子さん談)



【お申込み/お問い合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター/ TEL:045-664-6251 FAX:045-664-6254 E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp